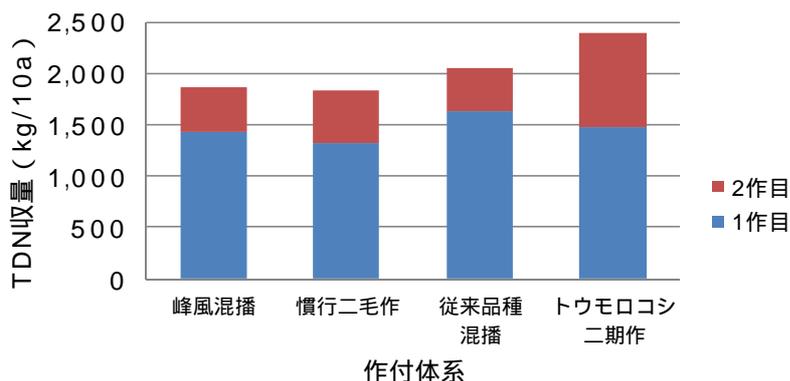


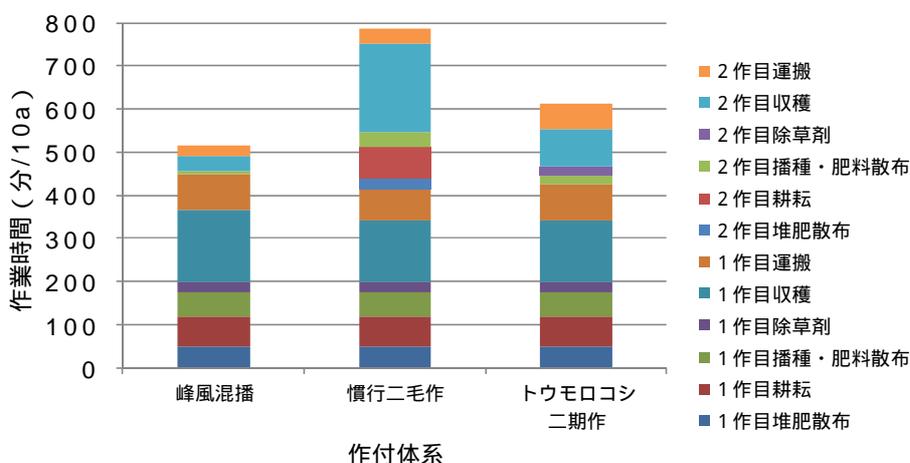
スーダン型ソルガム「峰風」を使って飼料作物栽培を省力化

「峰風」とトウモロコシの混播の年間の TDN 収量は1,867kg/10a で、トウモロコシとイタリアンライグラスの二毛作（慣行二毛作）と同程度であった。年間の作業時間は516分/10a で慣行二毛作より34%短縮された。従来品種の「高糖分ソルゴ-DH」とトウモロコシの混播と比較して、2 番刈りが1 ヶ月程度早く収穫できた。



「峰風」とトウモロコシの混播の年間の TDN 収量は1,867kg/10a で、従来品種の混播、トウモロコシ二期作より収量は劣るが、トウモロコシとイタリアンライグラスの二毛作と同程度の収量を得られる作付体系である。

図1 作付体系による TDN 収量の比較



峰風とトウモロコシの混播の年間の作業時間は516分/10a で、トウモロコシとイタリアンライグラスの二毛作より34%、トウモロコシ二期作より16%削減される。

図2 作付体系による作業時間の比較

表1 トウモロコシと混播するソルガム品種の違いによる収穫日の比較

実施年度	ソルガム品種	播種日	収穫日	
			1 番刈り	2 番刈り
26	峰風	4月16日	8月6日	10月29日
	高糖分ソルゴ-DH		8月6日	11月28日
27	峰風	4月17日	8月4日	10月20日
	高糖分ソルゴ-DH		8月6日	11月24日

混播したトウモロコシ品種は、「峰風」とは「34N84」、「高糖分ソルゴ-DH」とは「タカネスター」

峰風とトウモロコシの混播は、高糖分ソルゴ-DH とトウモロコシの混播と比較して、2 番刈りが1 ヶ月程度早く収穫できた。